

まさかは突然やってくる！

震災備え事始めプログラム シリーズ2

支援事業者編パート2

※発災初期（発災から3日まで）における悩みや不安

- 1 自分自身も被災者のため、人の心配ができるか？
- 2 自分が無事で動ける時連絡や安否確認の順序は？
まずは自分の家族の安否確認を行った後に、職場の利用者及び利用者家族への連絡・安否確認の順で良いか？
- 3 利用者の安否確認方法は？
- 4 連絡手段が停止したら状態確認はどうする？
- 5 一人暮らし、身寄りなしの利用者の安否確認
- 6 独居（または日中独居）の利用者宅を順次廻って安否確認できるか。途中の道路の状況は？
- 7 利用者の安否・状況確認は訪問しかなく現実的でないのでは
- 8 独居の利用者、身寄りのない利用者の安否や状況確認近隣の人に協力を求められるか？
もしくは近くの利用サービス事業所に頼めるか？
- 9 個別避難計画を作成している利用者への対応は？
ストレッチャーの要請や、安否確認を記載して市に提出しているので、対応は市に任せておけば大丈夫？
自分が行っても何もできないので仕方ない？
- 10 停電で電子機器が使えなくなる
- 11 電気が止まった時の在宅医療機器の対応
- 12 誤った情報の拡散が心配
- 13 医療機関との連携方法

支援関係者の皆さまから寄せられた 24の悩みや不安

高齢者・障害者施設や訪問支援の職員は、大きな震災の発災時についてどのような悩みや心配を持っているのでしょうか。実際に現場で働く職員に、悩みや疑問をヒアリングしました。混乱を最小限にしながら、安全に動くにはどうしたらいいか、一緒に考える機会になれば幸いです。

知って考え
備えるための
24

- 14 避難所へ行けない利用者さんの食料や医薬品の確保
- 15 独居の方の食事や服薬支援・管理はどうしたらいいか？
- 16 訪問介護(身体)や訪問看護、デイサービス利用者への対応。
通常のサービス提供ができない場合、代替として何ができるか。
- 17 事業所がどこまで動けるのか確認方法は？
- 18 災害時のケアプランがない
- 19 自身の職種に、災害時に求められる行動は？
どこまでやればいいのかわからない。
- 20 自分や家族が被災者となった場合は、専門職としての行動がとれない
(通勤困難)
- 21 歩行困難な方を避難させる方法がない
(人手、車いす)
- 22 医療系サービスが再開されるまで、自宅、避難所等で医療を受けられるか
- 23 個々の緊急的な生活支援が必要となった時
ボランティア参加の経験がない自分も力となって動けるか
- 24 利用者がペットを飼っていて、被災している場合はどうしたらいいか？